

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	建国大学 (韓国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English Language & Literature		
報告書提出日	2019年3月14日		
留学予定期間	2019年2月～2019年6月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 220000 (won) /合計

航空券代： 81000 (円) /合計

ビザ申請関連費： なし (通貨入力) /合計

その他 ()： (通貨入力) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

--

1.2. 渡航について

金浦空港に到着し、空港鉄道に乗ってホンデ入口駅で2号線電車に乗り換え、建国大学入口駅で下車、徒歩7分ほどで寮の入口まで到着。
--

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

寮費は入国前に全額一括で、シンハン銀行の大学の銀行口座に振り込みました。到着後は寮に直接行ってチェックインするのではなく、一旦学生ボランティアの方々が待機しているグローバルラウンジに来るようにと事前に言われていたので、そこへ行ってパスポートを渡し、明日以降の予定とルームキー等を手渡され、チェックイン手続きをしました。グローバルラウンジから自分の寮までは一人で歩いていきます。大学自体が本当に広く、坂道とでこぼこした道ばかりで、スーツケースを持ちながら歩くのはかなり大変でした。自分の寮に到着したら、ゲートにカードをかざして建物の中に入ります。15時過ぎに部屋に着きましたが、まだルームメイトはいませんでした。部屋の入替えがギリギリだったのか、前に住んでいた人のゴミや髪の毛がかなりひどかったので、荷ほどきの前に軽く掃除をしました。
◇気付き バスとトイレがおなじで、浴槽はなく、シャワーのみです。二つの間に段差や仕切りなどはないため、シャワーを浴びると水がトイレの方まで流れていきます。どちらかがシャワーを浴びている

時にトイレは入れません。空調は一括自動管理なので2月3月でも30度近い室内温度です。着いてすぐ、部屋では半袖を着ています。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

到着日の翌日、現地の生徒さんたちによるオリエンテーション内で外国人登録についての説明を受けました。外国人登録申請するには予約が必要で、ハイコリアというサイトから、様々な情報を入力し、オンラインで予約しました。すでに多数の予約でかなり先の予定まで埋まっていたため、私は3月29日の予約を取りました。予約をした日に、ソウルの管理事務所に行って申請の手続きをします。申請に必要な書類は、証明写真、パスポート原本とそのコピー、申請書、在学証明書、居住地証明書、手数料30000ウォンと郵送料300ウォンです。必要な書類は大学側が用意してくれました。パスポートのコピー等は日本から何枚か持って来たのでそれを使います。写真も日本で撮ったものです。証明書は郵送での受け取りになるため、早くて1週間、遅くとも1ヶ月以内には届くようです。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

2月26日

履修登録 本登録

オリエンテーション：大学についての概要、外国人登録の手続きについて、寮のアプリの説明、シンハン銀行の口座開設の必要書類記入

キャンパスツアー

2月28日

性に関するレクチャー、異文化交流についてのレクチャー

ウェルカムパーティー 大学周辺の飲食店で留学生と現地学生でゲームをしながらご飯を食べた。欧米から来た学生たちは朝までお酒を飲んでいたのでしたが、日本人たちは8時過ぎには帰宅。

3月4日 新学期 授業開始

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

帰国後のTOEICで700点取得を目指し、英語のスピーキング能力はもちろん、大学で使える学術的な英語を書けるようにする。また、韓国語は帰国後のハングル能力検定試験2級を取得し、韓国語を使った授業がほとんどないかわりに、韓国語で話す機会を多く作る努力する。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

留学が決まってから、英語、韓国語の語彙強化のために、一周した単語帳の二週目と、新しい文法テキストを並行して始めた。新しいテキストはまだ最後まで終わっていないので到着後も継続してやっていく必要がある。韓国人の英語発音に早く慣れるためにも、現地生徒と英語でたくさん会話していきたい。

3.3. 今月の学習・研修目標

授業の方法に早く慣れること。街中ではなるべく英語は使わずに韓国語で注文や会計をするように心がける。英語は、現地学生の英語のレベルがかなり高いので、わからない部分をそのままにせず

に積極的に教授に聞いたり生徒に聞いたりする癖を今のうちからつけておく。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	15:00~17:00 Understanding Korean Culture
火	9:00~10:30 Academic English 17:00~18:00 British American Literature And Western Classics
水	
木	10:30~12:00 Academic English 15:00~17:00 Korean Intermediate
金	13:00~15:00 British American Literature And Western Classics
土	
日	

4.2. 授業について

Understanding Korean Culture 留学生向けにアメリカ人の先生が韓国の深層文化やポップカルチャーなどのあらゆる文化についての授業をすべて英語で行う。欧米人留学生が9割弱いるので、話すスピードがとても早く、毎授業で教科書60ページほど進むので大変ですが予習をしているのである程度のレベルまでは理解できています。

Academic English 上記の授業と同じ先生でこちらも全て英語で行われます。ただこちらは現地学生が9割なので、先生も比較的易しめの言い回しをしてきている印象があります。現在の授業内容は、中間期末考査に向けたプレゼンテーションのアウトライン作りをしています。授業の内容はほぼすべて理解しています。

British American Literature And Western Classics この授業が一番難しいです。全て英語で進行される授業で、様々な文学の原文を英語で読み解いていながら、内容にどんな特徴があるかなど、様々な視点から文学を読んでいく授業ですが、一回の授業でホームロスのオデッセウス400ページ分ほど進むので、予習の量が膨大です。さらに、先生は韓国人なのですが、先生の発音が若干コリアンイングリッシュで、とても聞き取りづらいです。毎回授業を録音して、何度も聞いて理解しています。

Korean Intermediate 韓国語中級の授業です。シラバスには先生は英語と韓国語を混ぜて進行すると書いてあったのですが、アジア人が多いということで、ほぼ韓国語のみで進行されるそうです。まだ本格的な授業は始まっていませんが、大体の内容は理解できそうでした。

4.3. 予習・復習・自習について

Understanding Korean Culture 教科書を読んで予習、授業後スライドとノートを見ながら今日やった範囲を振り返って授業で聞き取れなかった点を書き込む。

Academic English 今はプレゼンのアウトライン作りなので、授業で習ったことを参考にしながらアウトライン作りを進めています。

British American Literature And Western Classics 毎授業出る予習の範囲を読み、前回の内容も振り返りながら授業時間内に書ききれなかった情報や、録音で聞き取れた内容を付け加えて授業ノートを作る。

Korean Intermediate 課題や授業の内容はまだ出ていないため、復習は未定だが、毎回出る次の範囲のプリントを自分でコピーして読んでおくという予習はしている。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	-----------------------

携帯電話は何かあった時が怖かったので、多少割高にはなりましたが使い放題にしました。
大気汚染で必ず体調が悪くなるので、当分の間は外出時必ずマスクを着用します。
シャワーの排水溝が詰まりました。前回住んでいた人たちの大量の髪の毛をかんばってとって、パイプユニッシュのような薬剤を買って綺麗にしました。毎日お部屋を掃除する習慣がルームメイトにも私にもあったので、気づいたらどちらかが掃除していて、とても過ごしやすくなりました。

5.2. 課外活動について

休日は予習に追われているか、外出時はまだ日用品や掃除用具など足りないものがたくさんあるのでその買い出しに行くか、ルームメイトのことカフェに行ったりするくらいです。韓国では最近深刻な大気汚染で、マスクをつけて外に出ないとすぐに体調を崩します。特に私は頭痛がひどくなるので、体調管理には留意したいと思います。

5.3. 現在までの感想

特に大きな悩みなどはありません。韓国の履修登録が本当に大変で、思うように授業を取ることができなくてとても悔しい思いをしました。ホームシックになるか不安でしたが、目の前にやらなければいけないことがたくさんありすぎて弱音も吐いていられない状況です。幸い、ルームメイトの友人がとても気が合い、一緒にいて楽しいので、その友人と力を合わせて、時には励まし合いながら頑張っています。そろそろ1ヶ月がたちますが、気持ちの緩みなどで体調を崩さないように十分注意して、充実した留学生活を送られるように努力します。

以上

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書 (5月)

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	建国大学 (大韓民国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English Language & Literature		
報告書提出日	2019年5月 日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

語学力の向上、具体的に英語は帰国後初めての TOEIC で 700 点獲得を目指している。英語のみで進行される授業を通じて、英語のスピーキング能力の向上、出来るだけ早く英語を理解して、早くレスポンスができるようにする。また、試験やレポートなどで使用する学術的な英語ライティング能力も併せて成長させる。韓国語に関しては、帰国後のハングル能力検定試験 2 級取得、TOPIK5 級の取得を目指す。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

留学が始まって 2 ヶ月が経過したが、中間考査の成績は自分がやった分だけ結果が出たのでとても順調に進んでいったと思う。特に、British American Literature And Western Classics の授業が一番難しかったので良い成績が取れてひとまずは安心している。この調子で予習復習を欠かさずに次回の期末考査も存分に力を発揮していきたい。韓国語は、韓国人と話す機会が思ったよりも多くはないので、自分がスムーズに会話できたことよりも、単語が出なくて悔しい思いをしたことの方が感覚としては多い気がするので、もっと単語をつけたい。

1.3. 今月の学習・研修目標

6 月の期末考査に向けた勉強を少しずつ始める。韓国人と話す機会をもっと作る。(韓国人の友人は数名いるのでその人たちといる時間を増やす。土日を有意義に使えるのは 5 月末までなので、それまでは積極的に外に出て留学を楽しむ。英語に関しては、帰国後すぐに受ける TOEIC に集中した勉強を始める。

2. 学修について

2.1. 授業について

Understanding Korean Culture テストとグループビデオプレゼンテーションを終えたが、テストでは平均点以上、グループビデオでは自分が趣味としてやっていた動画編集が役立ち、とても高い評価を

得ることができた。授業では韓国の歴史の部分を終えて、現代的な韓国の文化を学習している。最初の頃に比べると、一回で聞き取れて後から何度も録音した音声を聴き直すことが減った感じがする。英語ネイティブの生徒が約8割なので話すスピードがとても早い理解はできている。

Academic English 回を重ねるごとに、この授業をとったのは少し失敗だったかなと思う。理系学科の生徒がほとんどで、英語に苦手意識を感じている人のための授業なので、私にとっては易しめの内容だが、他の生徒は英語が苦手な理解していない。それに対して先生が大きな声で長い時間怒鳴る。私はしっかりやっているのに、1回の授業で何度もこのようなことがあると、とても無意味な時間のように感じるが多々ある。

British American Literature And Western Classics 一番成長を感じられる授業だとおもう。初めの1ヶ月は本当に何を言っているのかも、生徒たちが何で笑っているのかもわからない時があり焦ったが、他の生徒よりも倍近い勉強量だったと思う。朝から本当に夜中まで勉強し続けて、テスト順位は30人中6位~13位の間にいられたことがわかりとても嬉しかった。予習復習あつてのものだということが分かったのでこれからも続けていきたい。

Korean Intermediate 韓国語で受ける唯一の授業なのでとても役立っている。習ったフレーズを韓国人の友達との会話にも積極的に取り入れるように意識している。ほとんどの内容はとてもわかりやすくゆっくり話してくれるので理解度は高いが、それを日常会話で応用するところまでが授業だと思って意識的に使っていきたい。

2.2. 予習・復習・自習について

Understanding Korean Culture 教科書を読んで予習、授業後にスライドとノートを見ながら録音した音声を聞き、やった範囲を振り返って授業時に聞き取れなかった点を何度も聞く。

Academic English 期末考査のプレゼンのアウトライン作り今回はグループでのプレゼンになるので、授業で習ったことを参考にしながらしっかりとアウトライン作りを進めています。

British American Literature And Western Classics 毎授業出る予習の範囲を読み、前回の内容も振り返りながら授業時間内に書ききれなかった情報や、録音で聞き取れた内容を付け加えて授業ノートを作る。和訳は教科書に書き込み、分厚い教科書なのでテストの時にすぐにそのページを開いて時間のロスにならないように感覚をつかんでおく。

Korean Intermediate 毎回出る次の範囲のプリントを自分でコピーして読んでおく。新しく習った単語は別のノートに書き込む。

2.3. 語学力について

英語については、自分でもわかる単語やフレーズが増えていると感じる。授業の内容も一回で聞き取れることが増えたが、英語スピーキングに関しては、そこまで大きく成長したと感じることがない。授業は座学で、あまり英語を使って誰かと話す機会がないのが原因だと考える。積極的に授業に参加し、英語のスピーキング能力も向上させていきたい。

韓国語に関しては、少しずつではあるが、成長を感じている。今までは聞き取れても自分の考えがうまく韓国語にならず、悔しい思いをしたことが多々あったが、それもだんだん減って、楽しく会話をすることができている。しかしまだ書き取りの能力がとても低いことが分かったので、自分なりにノートを作ってそこに分からなかった単語等を書き込むことを始めたので、少しでも書き取り能力が向上してほしい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居※	学内寮（その他： ）
<p>深刻な野菜不足で疲れやすくなったり、いくら眠ってもずっと眠くなったりして、4月はあまり体調が良くなかった。毎日サラダを食べているが、生野菜は体がとても冷えるので近くの大型スーパーで耐熱容器と小分けになっている野菜やキノコを買い、電子レンジで蒸して温野菜を取るなどの工夫を始めてから体調がかなり回復した。ルームメイトとは仲がとても良く、週末にお買い物に行ったり、時々外食をしたり、お互いの誕生日に近いこともあり、パーティーをしたりして楽しく暮らしている。</p>	

3.2. 課外活動について

<p>サークルには入っていないので、休日は大抵土日どちらか1日は掃除や洗濯、来週の授業課題や予習をして、もう1日で食料の買い出しに行ったり、カフェで友達と話したり、または1日家でゆっくりする日もある。5月後半にはルームメイトと一泊二日の釜山旅行へ行く予定だ。</p>

3.3. 現在までの感想

<p>3月までが自分にとっての山場だったような感じがする。4月はとにかく1日中勉強し続けて、ストレスも感じたが、終わりがあると分かっていたので頑張れた部分もあった。それよりも人間関係や、体調の悪さなどは精神的に一番辛いので、そこを少しでも改善するために一番努力した。6月の期末までに何ができるか、帰国まで1ヶ月ほどしかない中でどれだけ語学力を伸ばせるか考えながら、1日を大切に過ごしていきたいと思う。</p>
--

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学科	国際文化交流学科	3 年次
派遣先大学 (国)	建国大学 (大韓民国)			
所属プログラム・ 学部・研究科	英語英文学科	履修言語	英語 韓国語	
留学期間	2019 年 2 月～2019 年 6 月			
報告書提出日	2019 年 7 月 15 日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
春学期	3 月 1 日 ～6 月 21 日 (16 週)	6 月 14 日 ～6 月 21 日	仮登録の後、現地で学生たちと一緒に登録をする。早い者勝ちなので全て取りたい授業を取るのとは不可能。新学期 1 週目で修正期間。

1.2. 履修科目・内容

春学期	British/American Literature And Western Classics	42 時間 (1 又は 2 時 間/回) × 2 (回/週) × 14 (週)	講義式授業で火曜日に 60 分、金曜日に 90 分。主に古代ヨーロッパ文学についての授業と、金曜日は生徒によるその週に扱う題材についてのプレゼンが 20 分。中間試験、期末試験共に記述式で、教科書（作品の原本）のみ持ち込み可能で、穴埋め、情景説明、小論文があった。
春学期	Academic English	48 時間 (1.5 時間/回) × (2 回/週) × (16 週)	講義形式、火曜日と木曜日共に 1.5 時間。基本的に教科書の内容に沿ってエッセイを 1 本と文法知識を毎回 1 つか 2 つ学ぶ。中間期末はエッセイライティングで、なぜ建国大学を選んだか、自分のキャリアのビジョンとそれに必要な能力を 3 つあげるなど。中間のプレゼンテーションは 1 人 5 分でこの学部で何をしたいか、期末は 2 人で 10 分、フリートピックでの発表。

春学期	Korean Intermediate	28 時間	1 回 2 時間の講義形式。学ぶ表現を使ってグループで寸劇をするなど、参加型の授業。テストは記述式で、選択問題、並び替え、長作文があり、中間期末共に同形式。教科書はなく、web 上にアップされる資料をダウンロードして使用する。
		(2 時間/回) × (1 回/週) × (14 週)	
春学期	Understanding Korean Culture	28 時間	1 回 2 時間の講義形式。教科書はなく、その日に教授が使用するパワーポイントをダウンロードできるようになっている。英語のみで、中間、期末ともに質問に対してショートエッセイ方式で答える問題が 5 問ある。追加で中間期末共にグループビデオ課題があり、様々な国から来た 5 人で韓国の料理を食べて自国の食文化を比較したり、観光地に行つて自国の歴史と比較したりする動画を作つて発表した。
		(2 時間/回) × (1 回/週) × (14 週)	

1.2 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

すべての授業の前の日までに予習を済ませておくこと。分からない単語をあらかじめ調べておくこと。又そこから派生した新しい文法などもノートに書いておく。前の週の授業の録音した音声をもう一度聞き、分からないことを無くしておくことで、次の授業の理解度を上げる事が出来る。プレゼンテーションがとても多いので授業以外の時間を使ってスピーキングの練習をし、人前でスムーズに英語が話せるように練習をした。

1.3. 語学力について

留学当初は英語はもちろん韓国語も話す機会が少なく、なかなか成長できなかった。しかし徐々に現地で色々な国籍の友達ができ、英語・韓国語、両方の言語を話す機会が格段に増えた。また大学の教授に積極的に質問をする事で顔を覚えてもらったので語学力の向上を効率よく行う事ができた。特に英語に関しては苦手としていたリーディングの能力を大きく伸ばす事ができたと感じている。韓国語に関しては、言いたい事をスムーズに伝える事が出来るようになった感覚がある。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

予習をしてから授業に望む事、また授業が終わってから復習を欠かさず行なう事が身についた。英語では目標のリーディング能力を上げるための語彙力の向上と、基礎文法の徹底した理解を意識して学習したため、試験でもいいスコアを取得することができた。また韓国語に関しては、留学前は韓国人と話す機会が少なかった為、所々で止まってしまう事が多くあったが現地の韓国人と話す機会が増えるにつれて、韓国語を話す生活に慣れて意思の疎通がスムーズに行う事ができた。特に日本で勉強しているときに理解できなかった連音化の仕組みや敬語の使い方を実践を通して理解する事ができた。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

学修面の反省としては、留学中は学校での授業だけでなく寮での生活に際して日用品の買い出しや授業以外の説明会なども多くある為、勉強時間を多く取る事が思ったよりも大変で睡眠時間を削って勉強する事が増え体力的にも精神的にも大変だった。

学修面のアドバイスとしてはこの反省を踏まえ、息抜きと勉強のバランスを上手く取れるように時間の使い方を考えながら勉強に取り組んでほしい。

2.3. 留学生活で得られたもの

一つ目は寮生活を通じての生活能力を得た。洗濯や掃除、食事の準備など、あらゆることをルームメイトと協力しながら行わなければならない為、一人暮らしよりも大変だった。

二つ目は金銭管理能力を得た。お金の管理をする為に、きちんと考えながら使うようになった。奨学金と仕送りで上手にやり繰りする為に、カードで購入したものと合わせて家計簿をつけた。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

反省点は予習復習など、勉強時間が取れない中での息抜きの時間の確保が難しく、ストレスが溜まった。留学志望者へのアドバイスとしては、とにかく時間を上手にコントロールすることでストレスの軽減と体調管理を行う事が出来ると思う。

また、人間関係も留学生活においてとても重要なものになると思う。やはり国が違ふと考え方も異なるため、嫌な思いをしたり、ストレスにつながったこともあったが、だんだんそれにも慣れて、完全に理解をするのではなく、それを受け入れた上で行動ができるようになった。人間関係をより円滑に、そしてストレスをなるべく溜めないようにするためにも、あまり考えすぎず気楽に会話を楽しむことも時には重要だと考える。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年7月15日

所 属	外国語学部 () 研究科	国際文化交流学科・専攻	3 年次
派遣先大学	建国大学		5 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	(2 人部屋、日本人ルームメイト、一部屋、シャワーとトイレ付き)
3	入居時手続き	(海外送金で払い、退寮時にデポジットが韓国で作った講座に振り込まれる)
4	費用 (月額)	50万 (ウォン) (食費含まない/月)
5	支払方法	まとめて支払い
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	(徒歩5分圏内にスーパー、寮の1階に コンビニ)
9	アクセス	(大学敷地内、最寄駅から7分)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(トイレとシャワーの使い方が日本と違うので慣れる必要がある)
11	引越しされた方は引越し先の住居形態を記入 ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
12	詳細を教えてください	()

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入

3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(ネットで事前予約して現地で取りに行く方式)
4	自宅のインターネット接続環境	有線 (大学または寮への LAN 接続)
5	大学内インターネット接続環境	有線 (大学または寮への LAN 接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	500000 (ウォン) /月
2	食費	200000 (ウォン) /月
3	交通費	10000 (ウォン) /月
4	通信費	50000 (ウォン) /月
5	娯楽費	200000 (ウォン) /月
6	図書費	0 (ウォン) /合計
7	学用品 (教科書など)	70000 (ウォン) /合計
8	被服費	20000 (ウォン) /合計
9	医療費	0 (ウォン) /合計
10	雑費・その他	30000 (ウォン) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舍デポジット	200000 (ウォン) /合計
12	ビザ申請関連費	0 (ウォン) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	80000 (円) /往復
14	その他	80000 (円) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	45 (万円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時 : 30000 円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名 : 三井住友) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	した
18	手続き方法・利点・欠点	学校側で手続きをやってくれた。
19	お金に関するアドバイス	大学の奨学金で食費交際費をまかなうようにする。使った分はメモする。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	D18 (4 か月分で 34370 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などがありますか？理由はなんですか？	

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 服、筆記用具、洗剤、本
2	現地で購入したもの シャンプー、洗面用具、タオル、掃除用具
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの 特になし

VI. 留学先で困ったこと

トイレの使い方 シャワーと一体型のため使い方が難しかった。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

とにかく健康に気をつけること、空気が悪いのでマスクを持ち歩くと良い。